

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

**研究課題名：** In situ preparation 法を用いた悪性骨・軟部腫瘍手術の治療成績

### 研究の目的

In situ preparation 法（以下、ISP 法）は、悪性骨・軟部腫瘍が重要組織（血管、神経、骨）と接している場合、温存可能かを術中に評価できる手術方法です。本研究では、ISP 法を用いた患者の治療経過を調査し、その成績を明らかにしたいと考えています。

**研究実施期間：** 年 月 日 ～ 2026 年 3 月 31 日  
(倫理委員会承認日)

**対象となる方：** 2008 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日までの間、附属病院整形外科を受診し悪性骨・軟部腫瘍と診断され、ISP 法を用いた手術を受けられた方

### 利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報のうち、患者背景、臨床経過、腫瘍学的・機能的予後情報について、標記研究課題実施のために利用します。

具体的には、統計学的手法を用いて、合併症や予後に影響する因子を明らかにしたいと思えます。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

<b>本件連絡先</b>	リハビリテーション科 大鹿周佐 0172-39-5473
--------------	------------------------------